



# 東日暮里幼稚園だより

荒川区立東日暮里幼稚園  
／ 荒川区立第三日暮里小学校併設園

発行日 令和4年2月1日  
発行者 園長 末永 寿宣

## 2月号

## 「10の姿」⑧ 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ～数や文字に対する子どもたちの疑問を引き出すために～

園長 末永 寿宣

生活の中には、さまざまな文字や図形、数、標識などが存在します。子どもたちが遊びの中で文字や図形などに関心を持つことができるように工夫して、働きかけることが大切です。

本園では、子どもの発達に合わせて、関心を持てるような工夫をしています。

数字や文字を覚えるために、机に向かってプリント問題を繰り返し解くような学習方法を思い浮かべる方も多いかもかもしれません。しかし、幼児期に大切なことは、「遊びや生活の中から数字や文字に関心を持つこと」です。子どもがどんなことに興味を持っているのか、どこまでを理解しているのかを私たちがしっかりと読み取り、子どもが楽しく関心を持てるような出会いを作っていくように努めています。

それでは、その実践の一端を1月の教育活動の中からご紹介いたします。

### 3歳 もも組

▲文字や数字に興味をもち始めています。ペンを並べて一緒に数えたり、これは何色かなとお互いに質問したり、10以上の数は相談しながら数えていました。



▲二人で野菜のカルタ取り。分からない野菜があると他の友だちに聞いています。交代で札を読んでいます。読み手は「にんじんのに」「きゅうりのき」など物の名前を呼びながら、お互いに教え合っています。



▲獅子舞の制作では、手形を獅子舞の服に見立てます。大きな面積にのりを塗ることで、のりの量を調整しています。

○子どもたちにたくさんのかたちを経験させてあげること、それまで関心が薄かった子どもも、楽しそうな友だちの姿をみて「ひらがなを読めるようになりたい」と感じるかもしれません。

## 4歳 たんぽぽ組

▲ハンバーガー屋さんをひらいて遊びました。ハンバーガーやポテト、ジュースやナゲットなどを作ったり、セットを組み合わせるために数をそろえたりしています。売る場所や食べる場所をみんなで相談しました。

▲お正月遊びのカルタでは、自分の名前と同じひらがなを見つけるたびに喜びます。友だちが取った札の文字にも興味を示してよく見えています。

▲好きな遊びでもカルタが人気です。遊びを通して数や文字に関心をもちながら、友だちと穏やかに遊んでいます。

○このような身近な体験は、実感を持って数量を理解することにつながります。また、数字などを生活に役立てることは、適切な感覚や関心を育むのにとっても大切です。



## 5歳 すみれ組

▲豆まき会に向けて伝承折り紙「つのこうばこ」を作りました。以前の折り紙「かき」で経験した正方形の基本形を違う折り方ができることも学びました。

▲活動前は、一枚の紙が箱になることが信じられない様子でしたが、立体になるとその不思議さに

魅了されていました。

▲東京藝術大学との連携により、銅版画の制作が進んでいます。子どもたちは、ニードルや割りばしペンを使って、幼稚園生活の思い出を描き写しました。

▲干支の文字に関心を持ち、墨と筆を使って、書初めごっこをすることで、文字への関心が高まっています。

10の姿における「数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚」を育むために、本園では、数や文字に対する子どもたちの疑問を引き出し、実際の体験を通して、今後も気づきの機会を作ってまいります。

